



DATA-MINERのご紹介

株式会社パラドックス

DATA-MINERの概要

DATA-MINERは、使い勝手の良い高性能VSAM I/O インタフェースユーティリティで、SAM及びVSAMファイルへのアクセスが、プログラミング無しで容易かつ迅速にできます。

DATA-MINERは、アセンブラ、COBOL、PL/Iで作成されたプログラムばかりでなく、NATURALやFocus等の4GLで作成されたプログラムからも容易にかつ強力で効率的にSAMやVSAMへアクセスが可能です。



DATA-MINERの特徴

DATA-MINER制御コマンドの多くは
CA Easytrieveと共通であり、DATA-MINERは
一部のCA Easytrieveコマンドもサポートしています。

その為、既存のCA Easytrieveプログラムを変更すること
なくDATA-MINERで使用することができます。



DATA-MINERのスク립ト

CA EasytrieveのプログラムをDATA-MINERではスク립トと呼称します。DATA-MINERのスク립トはCA EasytrieveのPARMステートメントをサポートしています。

DATA-MINERは非サポートのパラメーターをグローバルオプションテーブル(CSIDMOP)に追加で設定して使用する事が可能です。不明なPARMパラメーターが検出された場合は、DATA-MINERは警告メッセージをログに記録し、スク립トの処理を続行します。



共通コマンド

下記はDATA-MINERとCA Easytrieveの両方に共通するコマンドの例です。

コマンド	説明
CALL	外部ロードモジュールを呼出します。
CASE	条件付きのフローを制御する
COPY	フィールド定義をあるファイルから別のファイルにコピーします。
DEFINE	レコードフィールドとユーザー変数を定義します。
DISPLAY	システムプリンターまたは指定したファイルにデータを書き込みます。
DO WHILE	ループ処理を処理します。
ELSE	条件付きのフローを制御します。
ELSE-IF	条件付きのフローを制御します。
ENDCASE	条件付きのフローを制御します。
END-IF	条件付きのフローを制御します。
END-DO	条件付きのフローを制御します。

共通コマンド

コマンド	説明
FILE	入力ファイルまたは出力ファイルを定義します。 DATA-MINERには独自のINPUTコマンドとOUTPUTコマンドがありますが、FILEステートメントをサポートしています。 DATA-MINERは、順次およびVSAMファイル・タイプ、DB2データベース、およびPUNCH出力をサポートします。他のデータベースやアクセス方法は、EXITパラメータとユーザー作成の終了プログラムを介して処理できます。
GET	次のシーケンシャルレコードを読み取ります。
GOTO	実行をラベルに分岐できるようにします。
IF	条件付きのフローを制御します。
JOB	アクティビティを定義します。これにより、読み取るファイルとその処理方法を制御できます。
MACRO	マクロプロトタイプを定義します。
MEND	インストリームマクロ定義の終了します。
MOVE	あるフィールドから別のフィールドにデータを(パディング付きで)移動します。
MOVE LIKE	同様のフィールドをあるファイルレコードから別のファイルレコードに移動します。



共通コマンド

コマンド	説明
MSTART	インストリーム・マクロ定義の開始します。
PARM	DATA-MINERには独自のOPTIONコマンドがありますが、PARM文をサポートしています。
PARM-DATA	EXEC文のPARMオペランドを使用してデータをDATA-MINERに渡します。
PERFORM	スクリプト内でプロシージャを呼び出します。
POINT	VSAMファイルを配置します。
PRINT	REPORTコマンドと組み合わせてレポートを作成します。
PROC	プロシージャを定義します。
PUT	レコードをシーケンシャルファイルやVSAMファイルに書き込みます。
READ	シーケンシャルファイルまたはVSAMファイルからレコードを読み出す。
REPORT	レポートを定義します。(PRINTと組み合わせて使用)。



共通コマンド

コマンド	説明
SEARCH	DATA-MINERのテーブル・データへのアクセス方法はFINDですが、SEARCH文もサポートされています。
SET	レコード・フィールドやユーザー変数に値を割り当てます。
SORT	入力ファイルを出力ファイルにソートします。
STOP	スクリプトの実行を停止します。
WHEN	条件付きのフローを制御します。
WRITE	シーケンシャルファイルやVSAMファイルにレコードを書き込みます。



DB2データベース処理

DATA-MINERは、ネイティブDB2インターフェースを提供します。

動的SQLインターフェースを使用するため、CA Easytrieveの自動取得方法とも互換性があり、プリコンパイルやBINDを必要としません。



レポート機能

DATA-MINERは、**CA Easytrieve**と同じ方法でレポート処理を処理します。

レポートは**REPORT**コマンドで定義され、最も一般的なオペランドとサブコマンドがサポートされており、多くの**CA Easytrieve**ステートメントもサポートされています。

DATA-MINERは、**PRINT**コマンドと**SELECT**コマンドを使用して、ソートされていない基本的なレポートを作成することも可能です。



レポート機能コマンド

下記はレポートコマンドの例です。

コマンド	説明
ACROSS	ラベルのNアップ印刷を有効にし、ページ全体に印刷するラベルの数を指定します。
ADVANCE	要約行が印刷された後にスキップする行数を指定します。
DOWN	DATA-MINERHEIGHTオペランドのEASYTRIEVEシノニムをサポートしました。
DTLCTL	詳細行の印刷を制御します。EVERY、FIRST、およびNONEオペランドがサポートされています。
EVERY	DATA-MINERFREQオペランドのEASYTRIEVEシノニムをサポートしました。
FREQ	このレポートのn番目ごとを除くすべてのPRINTコマンドをスキップするように指定します。テスト用の印刷を制限します。
GAP	中央揃えと左揃えのレポートレイアウトのレポートフィールド間の空白列の数を指定します。
HEIGHT	各ラベルに割り当てられる行数を指定します。
LABELS	ラベル形式でページを印刷するように指定します。日付、ページタイトル、ページ番号、およびフィールド見出しを抑制します。
LENGTH	1ページあたりの最大行数を指定します。
LIMIT	テスト用に印刷するレポート行の最大数を指定します。





お問合せ先:

株式会社パラドックス

〒107-0052

東京都港区赤坂3-2-2 日総第24ビル 8F

TEL : 03-3505-5331 / FAX: 03-3505-5386

E-mail: paradox@paradox.co.jp

URL: <http://www.paradox.co.jp>

